

つみがた C・S 通信

令和6年5月27日 第1回月潟小中合同学校運営協議会を開催しました

月潟中・田中校長より、「目指す子どもの姿を実現するために、保護者・地域・学校のそれぞれがどのような役割を果たし、どのように協働していくかを話し合い、できることから実行する。」と、今年度の月潟小・中学校運営協議会の基本方針の説明がありました。

【次第】

1、開会のあいさつ・・・月潟小学校 校長 逢坂 一郎

2、自己紹介

3、協議

(1) 会長・副会長の承認

(2) 今年度の運営方針について

月潟中学校 校長 田中 良成

(3) 教育ビジョンの説明

小学校・・・校長 逢坂 一郎

中学校・・・校長 田中 良成

(4) 今年度のパートナーシップ事業推進会議について

地域コーディネーター 大関 五月

(5) グループ協議

「地域と学校で、子どもたちに何ができるか

～昨年度の協議を受けて」

4、閉会のあいさつ・・・月潟中学校 校長 田中 良成



【グループ協議：地域と学校で、子どもたちに何ができるか】

- ・ どうしたらもっと学校が地域に参加することができるのか、学校と地域双方から要望などを出し合い、機会を作る。
- ・ 可能であれば、土日が主体の地域行事に、授業の一環として、学校が企画運営から参加して、「月潟ではこんなことをしている。こんなものがある。」と自信を持ってアピールできるようにしてほしい。
- ・ 在学中の子どもがいないと行きにくい、という学校に対するハードルを低くできるように普通の学校の様子を見に来ていただく、ふらっと立ち寄れる場を「ふれあい室」に設置する。
- ・ 給食後の片づけ、体育時のサポート、プールの着替えなどボランティア内容を工夫し、学校に足を運んでいただく機会を考える。
- ・ 大人と子どもが一緒にできるレクリエーションや、体験教室などを企画し、楽しんで触れ合える機会を設定する。
- ・ 保育園、小学校、中学校の子どもたちが隔てなく、一緒に学んだり遊んだりと交流を深める機会がもっと増えると良い。等の意見がありました。



